



今回は 1 年生対象の職業別ガイダンスについて報告します。

◇ 9 会場に分かれて、講義を聞きました！

日 時：令和 2 年 2 月 6 日（木）6・7 限

9 人の講師の方に来ていただき、ガイダンスを行いました。生徒は事前に 2 つの講義を選択し、話を聞きました。以下に、それぞれの講義と生徒の感想をまとめました。

◇ 後藤忠雄先生（白鳥病院 院長・県北西部地域医療センター長）の講義です！

参加者：生徒 94 名

【講師紹介及び講座内容】

後藤先生は自治医科大学のご出身。自治医科大学は旧自治省、文部省、厚生省等が設置し、各都道府県の出資により運営されています。（授業料は無償！）各都道府県からの定員は 2 人ないし 3 人。地域医療の専門家を育て、医療過疎地域等の医療を担う人材を育てる大学です。

現代の医療の進歩とともに、簡単でない人間の体に対し特異的分化が進む医療。しかし、大部分の健康問題に対応できる「総合診療医」「地域の健康・福祉を考えて実践する医師」が必要です。

後藤先生は、この岐阜の地で、まさに医療と住民・行政をつなぎ、家族のケアも視野に入れた、地域を基盤とした医療体制づくりに尽力されています。医療過疎地域のネットワークを作り、地域の人々、多方面のスタッフとともに複数の診療所を複数の医師で支え合う、こうしたネットワークは、全国でもこの地域だけということでした。

都会から離れたこの地で、患者その人らしい人生を支えるために尽力される先生の姿を目の当たりにし、医療の方面に進路希望を持つ生徒たちは、より自分の価値を広げる選択を考えていく貴重な体験ができたと思います。



【生徒の感想】

- 将来、医療の仕事をしたいと思っている。様々な医療の現状を知ることができて良かった。
- 自分が何をしたいかを一番大切に進路を決めて絶対医者になりたい。
- 自分がやりたいと思う気持ちで大学を選ぶことが大切、という言葉に少しほっとした気持ちになりました。少しだけ自分の気持ちに自信を持っていきたいな、と思った。
- “地域医療”についてあまり考えたことがなかったけれど過疎の地域は医者の数も少なく、さらに中濃地区の医師数が一番少ないことに驚いた。地域で地域をサポートすることにも興味を持った。
- 医学が進歩するにつれ、より専門的な医療を目指す医師が増えているなど医療界の現状が分かった。総合医療を目指す医師が増えるといい。
- 自分のやりたいことをよく考えて将来に向かってみようと思うことができました。医療にも様々なジャンルがあって興味を感じたし、へき地医療にも関心を持ちました。
- 現在の医療は「治す」から「支える」に変化している。世の中もこのようにたくさん変化していくので、自分も時代の変化に対応し、必要とされる人材になりたいと思いました。
- 自分のやりたいこと、興味のあることをやる、ということをお大切にしていきたい。

◇ 今西正人先生（みどり病院 薬剤部部長）の講義です！

参加者：生徒 80名

【講師紹介】

今西先生は、名城大学薬学部で薬剤師の免許を取得されたのち、名城大学大学院の薬学研究科医療薬学専攻修士課程を修了されました。大学院での専門は、中枢神経系の行動薬理学・電気生理学です。

その後、岐阜勤労者医療協会のみどり病院に就職されました。2012年にはスポーツファーマシスト（日本アンチ・ドーピング機構）の資格、NST（栄養サポートチーム）専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）の資格を取得されています。



【生徒の感想】

- 薬剤師についてはよく知らなかったけど、薬剤師が科学者だと聞いて大きくイメージが変わりました。
- 薬剤師だけでなくいろいろな職業について表面的なイメージではなく、たくさん調べて知れるようにしたいです。
- 薬剤師は薬を作るのが主だと思っていたけれど、病院に配属している薬剤師の人達は患者さんに合う薬を提案したり、また薬に関しては医師に意見も言えるのだと新しい発見ができて楽しかったです。
- 自分で興味を持ったことを自分で実験をして解決できるように日常生活から疑問（疑問）をもって生活したいと思いました。
- 「文献検索の時点で間違えば、すべてダメになる。たくさん調べてより良い正確な情報を自分の責任として話す、使うことを大事にしていくことが大切」と聞いて、今の私でも磨くことの出来るスキルだと感じたので、そのことを意識し、磨いていきたい。
- 薬を出すだけだと思っていたけれど、医師と連携して1人の患者を診ていることにびっくりした。医師を手助けしていることがかっこいいと思った。
- 医師が簡単に決めていると思っていた薬に、薬剤師の意見が大きく考慮されていることを知って驚きました。

◇ 清長豊先生（NPO法人アジャスト 代表理事）の講義です！

参加者：生徒 36名

【講師紹介】

京都大学霊長類研究所で「発達障害がある子どもへのパソコン使った支援」について研究されたのち、NPO法人で発達障害の子ども達の支援を経験されました。その後、岐阜県の小学校で教員として働かれています。

現在はNPO法人アジャストで発達障害がある子どもの学習支援教室を開かれています。また、愛知県犬山市のすべての小中学校を回り、関わり方や教え方に迷っている先生へのアドバイスもされています。今年度は山形県、山梨県、静岡県、三重県、愛知県、岐阜県において、親や先生に向けて、発達障害がある子どもへの具体的な関わり方の方法を伝える講演会を開催しておられます。



【生徒の感想】

- 発達障害の子どもたちを正しく理解するきっかけになってよかった。
- 発達障害へのイメージが大きく変わった1時間でした。大変だけど、工夫をして発達障害の子に寄り添う清長さんの仕事は素晴らしいものと思いました。
- 助けや配慮を必要としている人に本人が望んでいる手助けができるようになりたい。

- 私は将来特別支援学校の先生になることが夢でしたが、この講座をとおして障害のある子のためにできることは他にもいろいろあるということが分かりました。
- 障害者に対する考えが変わった。”人とは違う”のではなく、”独特な感性を持っている”と言うことが分かった。その感性、個性を理解してあげることが大切だ。
- 今まで障害のある人と関わったことがなかったけれど、いろんな個性がある人がいて、関わってみたいと思った。
- できない人にできるように強要するのではなく、どうしたらできるようになるのかを一緒に考えることが大切だと思った。
- 発達障害のある人は、魅力的な人という考えがとても印象に残った。その人が100%の力を出せるような対応や環境作りが大切だと思った。
- この講座を受けて、発達障害という言葉のイメージが変わりました。僕は、個性と呼んだ方がよいと思うくらい魅力的に感じました。

◇ 若尾守康先生（ジースプレッド株式会社 代表取締役）の講義です！

参加者：生徒 81名

【講師紹介】

加茂高校を卒業後、若尾製菓株式会社に入社され、その後、社長に就任されました。2014年にジースプレッド株式会社を設立され、社長に就任されています。また、若尾製菓株式会社の社長を退任されて取締役就任されています。

「グレートカンパニーアワード 2016」社会貢献賞を受賞されました。



【講師からのメッセージ】

やさしい世界を創りたいと思い、やさしさのメッセージを入れたお菓子を販売しています。そして売上の5%を集め、アジアやアフリカに小学校を創っています。

趣味：仕事・野球・ゴルフ・海外旅行

目標：10校の小学校を創る。Bee partner プロジェクトで888人のやさしさの宣言を集める。

【生徒の感想】

- 初めて知る内容が多く、面白いと思った。
- お菓子を買うことで5%寄付されるなら、買ってみようと思った。
- 人を幸せにすることで自分も幸せを得られるんだなと思った。
- 海外で、知らない人たちのために親身になった活動されていることがすごい。
- 「やさしい世界を創りたい」という思いを行動に移して、形にされていることが立派だと思った。
- 自分も将来いつか就職する時が来るけど、若尾社長のような熱い気持ちをもった方と働けたらいいと思った。
- 海外でされている活動について、もっとくわしく知りたいと思った。
- 誰かの人生を豊かにすることが、自分の人生の豊かさにも繋がるんだとわかった。
- 岐阜県にいながら、海外を視野に入れて活動されている方の話を聞けてよかった。
- 私も自分のやりたいことを見つけないし、信念を持って行動できる大人になりたいと思った。



◇大串智紀先生（ラムス予備校 講師）の講義です！

参加者：生徒90名

【講師紹介】

大学入学時より個別指導塾にて英語を教える。大学在学中に英検1級取得。2015年より名古屋のRAMUS予備校で英語講師を務める。大手企業研修講師としての実績も。Twitterフォロワー数2万5千人突破。現在は、ロンドンブーツ1号2号の田村淳が取締役の1人であるDEF ANNIVERSARYによる英語アプリ「英音学」の英語制作チーフも務める。

【講座内容】

今回の講座では、「皆さんは幸せですか？」という投げかけから、これから先、生徒が幸せに生きていくために、ポジティブに前を向いて生きていくために必要な知識や考え方を教えていただきました。具体的には

- ① 他人と自分を過度に比較しない
- ② 過去の出来事を再定義して今に集中する
- ③ 未来を信頼し、今に集中する
- ④ 自分に集中し、他人を信頼する

の4項目について、大串さんの高校・大学時代の経験を軸にご講話いただき、今の高校生が抱える悩みや不安に対してどう対処すべきかを教えていただきました。講座を受けた生徒にとって、今の自分を見つめ直し、今後何を大切に生きていくのか考え直す良い機会になりました。

【生徒の感想】

- 講師の方の体験談を多く聞かせていただいて共感する部分がたくさんあり、今後の人生に生かしていこうと思った。
- これから自分がどう行動していけばよいか、よく考え言語化していきたいと思った。
- 理念→目的→目標を自分の中で決定して、目標を妨げる要因に負けない意思をもっていきたい。
- 自分の外側のことを変えるのではなく、自分の内側を変えていこうと思った。
- なぜポジティブやネガティブな気持ちになるのか原因を追究し、どう意識を変えるとよいかも明確になった。
- これからの自分を信頼して様々なことに努力していきたい。
- 自分のやりたいことをみつけていきたいと思った。
- 自分自身、他人と比較して他人に流されて自分の意思で行動できないところがあるので、これからは自分軸で考えていきたいと思った。
- 今に集中すること、挑戦することの大切さを知ったので、まず何でもやってみることから始めたいと思った。



◇松田一希先生（中部大学創発学術院准教授）の講義です！

参加者：生徒28名

【講師からのメッセージ】

世界中には様々な動物が様々な環境に適応してくらしています。わたしは霊長類の研究をとおして、動物がどのように進化して現在の生息環境へと適応していったのかを明らかにすることに興味があります。南米アマゾンの森にすらす野生クモザルの研究をしたのち、東南アジアのボルネオ島の固有種であるテングザルの研究を2005

年より開始しました。現在はテングザルの研究に加え、東アフリカのウガンダの熱帯林にすすアビシニアコロブスの研究もしています。

【生徒の感想】

- 今の勉強が将来に役立つと聞いたので、もっと勉強を頑張りたいと思った。
- 実際にテングザルの生態の動画などを見ることで、色々なイメージがつかみやすかった。実体験が面白かった。
- 自分の好きなことで生きていって、講師の先生から楽しさを感じた。あんな風に生きたいと思った。
- 野生動物の研究を通して菌を発見し、人にも生かせるかもしれないことを発見することは自分の好きなことだし、人のためにもなるので、良い仕事だと思いました。
- 研究の楽しさや苦しさ、やりがいを知ることが出来て面白かった。研究者についてことが良く分かった。
- やりたいことに次々に手を出して、どんどんやってみる楽しさと大切さを学んだ。今、自分がやりたいことを思い切って何でもやってみるべきだと感じる。
- 大学の研究員という身近でない職に触れ、一つのことに熱中して取り組めばその職の楽しさを感じることが出来ると知ったので、将来の職業選択のときのポイントにしたいと思った。
- 自分の仕事にやり甲斐を持つことで、仕事と感じず楽しく出来ることを知ったから、自分も今後の進路を楽しむことができるとにしたいです。



◇ 田中まりん先生（株式会社リクルートパートナーズ）の講義です！

参加者：生徒60名

【講師紹介】

関高等学校を2011年に卒業。大阪大学外国語学部英語学科に入学。

2015年より富士通株式会社の東京本社にて金融機関向けの法人営業を3年半経験後、リクルートマーケティングパートナーズに転職。教育業界にてスタディサプリの営業を担当。その傍ら、大学生向けの就職活動のボランティアや、他社の新規事業の立ち上げに関わる仕事などに携わる。



【講座内容】

講座では講師の方の実体験をもとに、講義をしてくださいました。まず大学生活では勉学以外のことにも挑戦し、それにより新たな自分自身の個性を発見し、サークル活動、ボランティア活動で社会人との交流を積極的に行うことにより新たな発見や考えを深めていく大切さを、教えてくださいました。また社会で働くということは、商品やサービスを世界中に広げることにより、多くの人達を幸せにできることと、新しいことを発見できることであるということを教えてくださいました。それにより自分だけではなく、他者のために生きることの大切さを教えてくださいました。

【生徒の感想】

- 実際に働く人の声を聞いて良かった。
- 実体験に基づいた話で、親近感がわき大変面白かった。
- 世の中に出るとどんな可能性があるのか、今後の自分を想像しようと思った。
- リクルートの会社についてたくさん聞くことができ、理解できて良かった。



- いろいろな考えを持って、働くことの大切さを学んだ。
- 外の世界に目を向けることが大切なことを理解した。大学についてきちんと調べる重要性を知った。
- 社会は新しいことを実現したり、多くの人達を幸せにできる可能性に満ちていることを知り、将来が楽しみになった。
- 外の世界に目を向け、小さなことを漠然としてでもいいから、ビジョンを持ち続け、努力や挑戦することの大切さを知った。
- 大学、社会に対して、漠然としたイメージしかなかったの
で、面白かった。
- 大学は自由で、社会では自分がやりたいことを調べ、挑戦することができると思うと、早く働きたいと思った。



◇ 衣斐七海先生（関市役所 市民協働課）の講義です！

参加者：生徒35名

【講師紹介】

岐阜県揖斐郡揖斐川町出身。大垣北高等学校及び岐阜大学地域科学部をご卒業されました。関市役所への就職をきっかけに関市へ移住されて2年弱が経っています。市役所では、市民協働課に配属され、主に高校生や大学生を対象に地域愛醸成と人材育成を目指す「若者活躍推進事業」、女性の自分らしい働き方や多様な社会での活躍を支援する「女性活躍推進事業」、予算決算にかかわる「庶務」を担当されています。

【生徒の感想】

- 自分のやりたいことをできる場所で働くことは大切だと思いました。
- 父も市役所で働いているので、こんなに大変なんだと思いました。講師の方は積極的にプロジェクトに参加したり企画してすごかったし、私もそうなりたと思いました。
- 公務員という仕事に将来就きたいと考えていました。高齢者の方々の役に立てる仕事があると聞いたので、いい話を聞かせていただけたと思いました。
- 話をしてくださった先生が、仕事で毎日が充実しているのがよく伝わってきて、前よりも興味が深くなった。
- 公務員というのは、とてもやりがいがあって、楽しみが多きい仕事だということを知ることができて良かったです。
- 事務職は活動的でないから嫌だなと思っていたけど、そんなことはないことに気づいた。また、遊びを仕事に関連付けてやってみることがいいなと思った。
- 衣斐さんが「まちづくり」という仕事に対してどれだけ熱意を持っているか、楽しさを大事にしているかがわかりました。私も目の前のことを当たり前と思わず、まずは高校生を楽しみたいです！
- 市役所に行ったことはあるけど、仕事の内容はよく見えていなかったなので、詳しく聞けてよかったです。
- 市役所は若者向けのプロジェクトなどもたくさん行っていることを知って、私も参加してみたいと思った。
- 自分の意思がはっきりしている方で、いいと思った。公務員も気になっていたのがためになった。やりがいがありそう。積極的で努力家の方だと思った。
- 興味がある仕事に就いた方が楽しいと思うし、続けていけると思ったので自分に合った職業を見つけないと思った。



◇ 岡島典子先生（社会保険労務士）の講義です！

参加者：生徒44名

【講師からのメッセージ】

京都市内の私大法学部を卒業後、パラリーガルとして弁護士事務所に勤務していました。その後1年半ほどオーストラリア、セブ島、インドに仕事等で滞在し、27才で帰国。帰国後、行政書士事務所を開業し、社会保険労務士としての仕事もしています。2人の子育てをしながら働くお母ちゃんをしています。趣味はTOEIC受験や資格を取ることと、ドラクエウォーク(ダイエット中)です。

【生徒の感想】

- 社会保険労務士、行政書士についていろいろ知ることができて良かった。
- 資格を取ることによって自分にどんな利益があるのかがわかった。
- 大学の決め方等のポイントがわかりやすく、参考になった。
- 行政について知れたのが良かった。
- 自営業のメリッ・デメリットを知ることができて参考になった。
- 自営業で1人で責任を負ってやっついこうと思えるのがすごい。
- 職業選択や学費のことが参考になった。
- 法律について興味を持った。
- 社会保険労務士や行政書士については何も知らなかったが、詳しく学ぶことができて良かった。
- パラリーガルについてももっと知りたいと思った。
- ユーモアがあって最後まで集中して聞いて良かった。
- 自営業で子育ても頑張っていらっしゃるのがすごい。
- 「仕事が終わった時＝何か解決したとき」というのが良いと思った。
- 法学部に興味を持った。
- 自分がやりたいことにまっすぐに打ち込んでいる姿がカッコいいと思った。
- 自分の適性から仕事を選ぶという方法もあることを学んだ。

